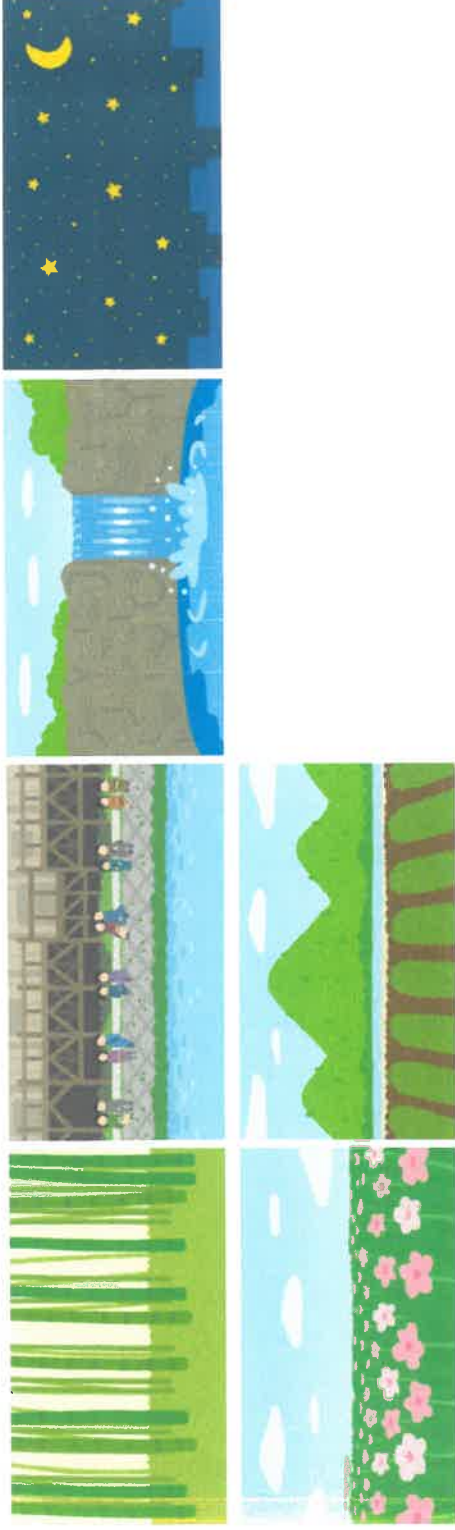


すたら アクティブラーニング

ー外国にルーツを持つ人が、
あなたの住んでいる街でよりよく生きる方法を提案しよう！ー



チーム名: Day break

メンバー:竹下 寧南...資料集め、文章(サポート)担当

小島 万和...発案、資料集め担当

米村 彩姫...文章、構成担当

○目次

- 1.外国にルーツを持つ人とは？
- 2.外国にルーツを持つ人たちが困ること
- 3.提案内容
- 4.まとめ
- 5.参考資料

1.外国にルーツを持つ人とは？

私たちは提案内容を考える前に、「外国にルーツを持つ人」とはどのような人なのかを考えた。

- 外国人
- 帰国子女*
- 親戚に外国人、もしくはハーフがいる人

この3つのパターンがあると考えた。今回はこの中でも、「外国人」に絞って提案していきたいと思う。

*1 帰国子女（きこくしじょ）とは「帰国した息子・娘」の総称。保護者の国外転居に伴って国外転居した後に自国に転居（帰国）した子女。(Wikipediaより抜粋)

次に外国人が日本で生活していく上で、困っていることを予想してみることにした。

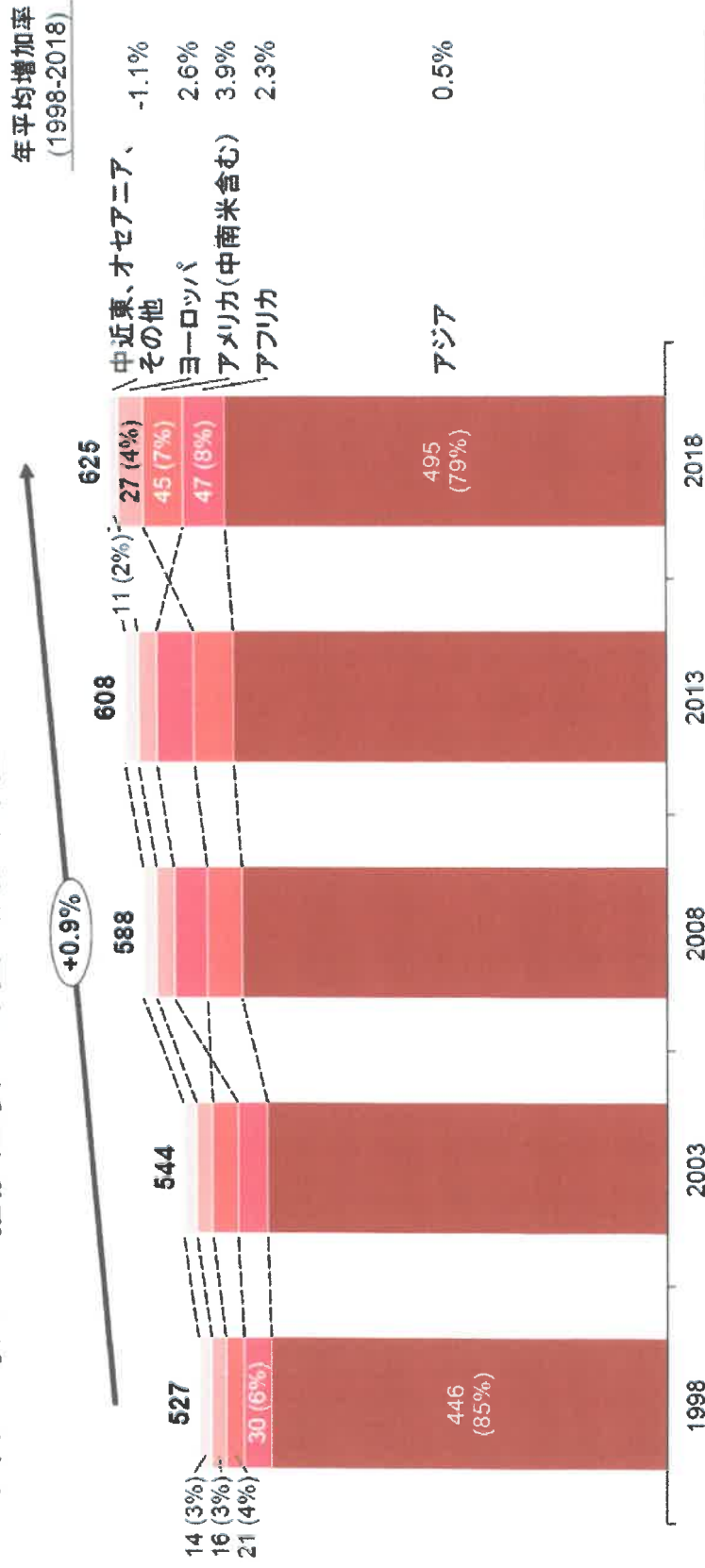
1つ目に出たのが、宗教、ベジタリアンの関係で食べられないものがある人がいることだ。解決策として、コロナ禍に利用者数が跳ね上がった食品の宅配サービスを利用したりするといった思った。アプリはもちろん、一部配達員の方も、今は英語に対応しているらしい。



基本情報：ベジタリアン等の世界人口推移

主要100ヶ国・地域におけるベジタリアン等の人口は、欧米諸国を中心に毎年約1%近くの増加傾向にあり、2018年には約6.3億人に達しています。

ベジタリアン等人口の推移(主要100ヶ国・地域¹⁾、単位:百万人)



※ 本統計のベジタリアンの定義: ベジタリアンは肉類、家禽類及び魚介類を食べない、ないしは食べることを信条としない人で、人によっては卵やチーズなど動物由来のものも摂取せず、基本的に野菜、フルーツ、ナッツや穀物などをメインの食事とします。

文化や生活習慣の違いと言っても、日本には独特なマナーなどがあるので、探せば沢山違いは見つかると思う。今回提案するのは、「ごみの分別の仕方」の違いに関するものだ。

やはり、生活の中でゴミ捨ては不可欠。在日外国人からは、

『“「ゴミ分類は面倒だと思う。中国では分類はしない」(中国/20代前半/男性)”

”「日本に行われるごみ分別は厳しいと思います。母国では分別をする必要がないし、燃えるゴミとボトルにだけ分けられています」(スペイン/30代前半/男性)””「香港でもゴミの分別をやっていますが、日本みたいに徹底してないです。日本のゴミ分別は細かいです」(香港/20代後半/女性)”』
というような声も上がっている。(インバウンド ONE より一部引用)

また、自治体ごとでも分別法が違ったりするため、外国人にとってはさらに厄介だろう。

① ごみの分別をわかりやすく！

外国の方でも簡単にごみの分別ができるようにアメリカで使われている英語の分別マークと日本語版と一緒に使うことを提案する。

だが、分別の仕方が違うところが多いと思うので、そこは各自自治体で作った方がいいと思う。



②呼びかけをしよう！

外国人でもゴミを出す場所がわかるように、次のようなマークを電柱などにつけるといいと思う。



これを貼っておけば、外国人でもわかりやすく、こちら側もきちんと捨ててくれて助かると思う。また、「この街には～の方が住んでいるから、この～語のマークを貼ろう！」など工夫して貼るとよりいいと思う。

今回のテーマは「外国にルーツを持つ人が、あなたの住んでいる街でよりよく生きるためにできることを提案しよう！」だった。大事なものは、まず大前提として、「相手(外国人)がよりよく生きられるようにすること」そして、「自分たちもよりよく生きられるようにすること」だと考えた。やはり、どちらかを優遇するのではなく、お互いが尊重し合い、お互いに手を取り合いながら、よりよく生きていくことができるグローバルな社会づくりを大事にしたいと思う。

(米村)

今回調べてみるまで外国の方が生活で困っていることがないかということを考えては、自分達が想像したり、本当に聞いてみたりして、現状がわかった。日本と他の国のさまざま違いによって困っていることがほとんどで、違いを教えること、助け合うことなど、それぞれが尊重してみんなの街をよりよくして、生きやすく、楽しく過ごせるように努力していこうと思った。まずは身近な、近所の外国人の人や、学校などで関わる人たちに寄り添えるようにしたいと思う。

(竹下)

私たちが普通に過ごしていると外国の方たちが困っていることに目を傾ける機会が少ないのでこのテーマについて調べてみて良かったと思う。一番は言語の違いに困りやすいと思っていたけど、全然違うことが分かって改善できるところがまだあるなと感じた。外国の方が少しでも日本で過ごしやすいように、努めていきたい。

(小島)

5. 参考資料、出典・引用元

- Wikipedia

<https://ja.wikipedia.org/wiki/帰国子女>

- 国土交通省観光庁

<https://www.mlit.go.jp/kankocho/content/001335459.pdf>

<https://www.mlit.go.jp/common/000054062.pdf>

- インバウンドONE

<https://www.jointone.biz/garbage-separation-20191213/>